

## 伊那市学校給食食農体験事業「暮らしのなかの食」について

### 1 事業経緯

伊那市は保育園・小中学校で授業での栽培・収穫体験や給食での行事・伝統食の提供、地産食材の活用など取り組んできたが、多くは行事的なものであり、日常的なものではなく、学校、学年、クラスによっても取組は様々だった。

平成25年8月に「伊那市学校給食あり方懇談会」を設置し、将来の保育園・学校給食のビジョンを提示しながら、その具体化に向け、議論すべき課題を設定すると共に、各課題の検討・立案・実施のための指針が示された。これを受け、「伊那市学校給食あり方作業部会」により懇談会の提言を具体化するための協議・検討が行われ、モデル校による取組を経て、平成27年度より、全小中学校において、学校給食食農体験事業「暮らしのなかの食」を導入した。

平成27年度から5回に亘り哲学者の内山節氏に講師を依頼し助言を受けた。

このように「暮らしのなかの食」を展開しており、令和2年度から5年単位の二回り目に入った。

令和2年2月から令和5年5月まで大きな影響を受けたコロナ禍を乗り越え、改めてそれぞれの学校で引き続きの活動を発展させていただいているところで、本日約4年ぶりに関係者が一堂に会する実践発表会を行った。

### 2 実践発表会の内容

- (1) 基調実践報告 長谷小学校での活動
- (2) 各校及び園の実践を踏まえてのグループ協議

### 3 これまでの取り組みについて

実施年度	取組概要	現地視察	実践発表
26年度	<p>○伊那小学校・伊那東小学校・西春近南小学校・長谷小学校・長谷中学校をモデル校に選定し本格的な農業体験を教育課程に盛り込み事業を開始した。</p> <p>○事業費：1,261千円</p>	なし	<p>○実施日：11月13日</p> <p>○場 所：501・502 会議室</p> <p>○発表校：伊那小 伊那東小 西春近南小 長谷小 東部中 長谷中 (4小学校・2中学校)</p>

実施年度	取組概要	現地視察	実践発表
27年度	○哲学者内山節氏に助言者・講師を依頼し、伊那市学校給食食農体験事業「暮らしのなかの食」として市内全小中学校で取組みを開始した。 ○事業費：2,967千円	○実施日：7月9日 ○視察先：伊那東小 高遠小 高遠北小 長谷中 (3小学校・1中学校)	○実施日：11月4日 ○場 所：市役所多目的ホール ○実施校：伊那東小 伊那北小 東春近小 高遠北小 春富中 (4小学校・1中学校)
28年度	○哲学者内山節氏を助言者・講師に招き、前年に引き続き市内全小中学校で「暮らしのなかの食」事業を実施した。また、視察先・実践発表に保育園を加えた。 ○事業費：2,610千円	○実施日：7月14日 ○視察先：新山小・西春近北小・伊那中・長谷保育園 (2小学校・1中学校・1保育園)	○実施日：11月8日 ○場 所：501・502会議室 ○実施校等：新山小 手良小 西春近北小 高遠小 伊那中 長谷保育園 (4小学校・1中学校・1保育園)
29年度	○哲学者内山節氏を助言者・講師に招き、引き続き市内全小中学校で「暮らしのなかの食」事業を実施し、視察先・実践発表に保育園を加えた。また実践発表会をより多くに方々に周知した。 ○事業費：2,013千円	○実施日：7月11日 ○視察先：伊那西小・富県小・西箕輪小・高遠中・富県保育園 (3小学校・1中学校・1保育園)	○実施日：11月16日 ○場 所：生涯学習センター いなっせホール ○実施校等：伊那西小 富県小 西箕輪小 高遠中 富県保育園 (3小学校・1中学校・1保育園)
30年度	○哲学者内山節氏を助言者・講師に招き、引き続き市内全小中学校で「暮らしのなかの食」事業を実施し、視察先・実践発表に保育園を加えた。 ○事業費：3,142千円	○実施日：9月20日 ○視察先：美篤小・西春近北小・長谷小・長谷中・西春近北保育園 (3小学校・1中学校・1保育園)	○実施日：1月25日 ○場 所：市役所多目的ホール ○実施校等：美篤小 西春近北小 長谷小 長谷中 西春近北保育園 (3小学校・1中学校・1保育園)

実施年度	取組概要	現地視察	実践発表
31年度	<p>○哲学者内山節氏を助言者・講師に招き、引続き市内全小中学校で「暮らしのなかの食」事業を実施した。</p> <p>○活動の更なる発展への期待を込め笠原教育長が5年間の活動を振り返った。</p> <p>○事業費：2,965千円</p>	なし	<p>○実施日：1月21日</p> <p>○場所：防災コミュニティーセンター</p> <p>○実施校等：東春近小 西春近南小 長谷中 西春近北保育園 長谷保育園 (2小学校・1中学校・2保育園)</p>
令和2年度	<p>○各校で継続的に事業を推進した。</p> <p>○事業費1,998千円</p>	新型コロナウイルス感染症まん延により中止	新型コロナウイルス感染症まん延により中止
令和3年度	<p>○各校で継続的に事業を推進した。</p> <p>○事業費1,572千円</p>	新型コロナウイルス感染症まん延により中止	新型コロナウイルス感染症まん延により中止
令和4年度	<p>○元伊那市教育委員長 松田泰俊先生による講演会を開催。</p> <p>・平成27年に事業化してから5年1期の2期目に入る本年度の取り組みに向け、当初に掲げた活動の価値や考え方に立ち戻り確認するため、事業化にあたり中心的役割を担っていただいた松田先生にご講演いただいた。</p> <p>○各校で継続的に事業を実施。</p> <p>○事業費1,386千円</p>		<p>講演会</p> <p>○実施日：令和4年6月2日</p> <p>○場所：美篤公民館</p> <p>○参加者：市内小中学校長</p>

実施年度	取組概要	現地視察	実践発表
令和 5年度	<p>○約4年ぶりとなる関係者が一堂に会しての実践発表会を開催。 学校、保育園関係者44名参加。</p>	なし	<p>○実施日：1月29日 ○場所：伊那市役所501、502 ○基調実践報告：長谷小学校 テーマ「つながる心をはぐくむ～食をとおしてつながる人の輪・学びの輪～」 ○各校及び園の実践を踏まえてのグループ協議</p> <p><b>【協議での発言】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園での活動が小学校へと繋がっていることが実感できた意見交換会だった。</li> <li>・小・中の中に保育園が混じることで議論が活発になった。</li> <li>・「暮らしのなかの食」を通し、自ら考え自ら学ぶ姿勢が身についた。</li> <li>・年齢ごとに食育の段階があるとの指摘により、保育園での活動をどのように学校で活かすか考えたい、など繋がりを重視したいとの意見が出された。</li> <li>・地域の協力者、教育現場と支援者をつなぐコーディネーターのような存在を必要としていることが分かった。</li> <li>・先生方の会話が途切れないうちから、各校、各園での実践が日常的に行われていることを実感できた。</li> </ul>